

# 士 幌 町

しほろちょう

面積：259.13km<sup>2</sup>

人口：6,813人（平成19年5月現在）

世帯数：2,601世帯（平成19年5月現在）

町の木：カシワ

町の花：スズラン

町名の由来：アイヌ語で「広大な土地」を意味する「シウウオロー」から。

H P：http://www.shihoro.jp

Mail：utopia@shihoro.jp



## 道の駅「しほろ温泉」



士幌町産業振興課  
産業振興グループ

しほろ温泉プラザ緑風

主査 藤井 由美

支配人 後平 成央

### 源泉掛け流しとパークゴルフが好評 モール温泉の道の駅「しほろ温泉」

「ふれ愛ユートピア」の創造をかかげる士幌町は、農業を基幹産業として発展を続け、全国有数の畑作及び酪農基地として優良な食料を供給しています。美しい自然は多くの人をひき付け、「士幌高原」をはじめ自慢の観光スポットは、十勝の雄大さを実感できるところばかりです。その中の一つに十勝ならではのモール温泉が好評な「しほろ温泉」があり、2006年（平成18年）9月に95番目の道の駅として指定されました。

後平成央支配人は「モール温泉は太古からの恵み、植物性の有機物を含み美肌効果が期待できます。源泉掛け流しで源泉は51度。『大変良い温泉だ』とお客様に喜ばれ、リピーターも多いんですよ。大浴場はもちろん、露天風呂やジャグジーバスもあり、ラジウム岩盤浴もご用意しています」と話します。モール温泉は北海道遺産にも選定されている、貴重な温泉です。

「しほろ温泉」では宿泊もでき洋室、和室、メゾネットタイプのほか、バリアフリーに対応した客室「2室を含め」は合計23室。十勝管内をはじめ、道内を中心に利用者が絶えません。恵まれたお湯はもちろんのこと、喧噪を離れ自然の中でゆっくりくつろげるので、何度も訪れたくなる理由も分かります。温泉のある道の駅は道内に幾つかありますが、無料で足湯が利用できるのはここが最初。日帰り入浴もできます。

また4コース、36ホール国際公認パークゴルフ場があり、誰でも無料で利用できます。山あり、池あり、バンカーありの変化に富んだコースは、初心者から上級者まで満足のできるコースです。パークゴルフの後は温泉ですっきり汗を流し、レストランで地場の素材を使った食事が楽しめるお得なセットプランもあり、こちらも好評です。

ドライブの途中レストランに立ち寄る人たちには、地元の農園で栽培されているハスカップをレストランのシェフが丁寧にジャムにし、十勝の新鮮な牛乳を使用した「ハスカップサンデー」が人気です。通年、てんぷら定食には地元のヤマベが付き「士幌牛も、ぜひ味わってください」と後平支配人。おいしいメニューが勢ぞろいしています。



道の駅しほろ温泉プラザ緑風

地場産品展示販売コーナーでは、土幌のジャガイモを使い町内で製造しているポテトチップスや、コクがあるのにさっぱりとした口当たりのアイスクリーム「北の氷点菓」、土幌高校の生徒たちが作るフランクフルトやベーコンなどの食肉加工品を買うことができます。

## 「バイオガスプラント」など、 エコロジー先進自治体

土幌町は、非常にエコロジーに力を入れており、町民の意識も高い町です。「皆さん、ごみの分別もしっかり守って出されるんですよ」と話すのは藤井由美主査。

産業に目を向けると、東洋一の規模を誇るジャガイモの生産から加工まで一貫して処理できる一大コンビナートでは、加工過程で排出されるでんぷん工場の排液を液肥として利用しています。さらに最後まで残る「スカム」などは燃料となり、町の特産品であるジャガイモを無駄なく最後まで有効に活用。近年、食品への安全性が非常に高まる傾向にあります。大規模農業を基盤としたオーガニック農業地帯の形成を目指しているのも大きな特徴です。

またデンマークなどヨーロッパで先進的に行われている「バイオガスプラント」を導入し、やはりこれも環境問題に配慮した取り組みです。酪農業が盛んな土幌町では全国に先がけ、まず平成16年（2004年）に2基、翌年には1基が完成し、これまでやかいかいものだった家畜の糞尿を資源に転換。処理の途中で出るメタンガスを発電に利用し、牛舎で使う電力を節約。メタンが発酵した後の消化液は肥料になるので、有機農業の実践にも貢献します。処理過程では熱も発生し、こちらはプラント内の維持などに使われています。余剰電力は売電という方法があり、ヨーロッパでは売電が農家の副収入につながっているというケースも報告されています。しかし何よりも農家が糞尿処理に多くの時間を費やす必要も



パークゴルフ場

なく、臭いのないクリーンな環境で作業できるというメリットは、後継者問題の解決にもつながっていきそうです。

このほか、2006年の土幌町公共施設温室効果ガス排出総量が、目標を大幅に上回り04年よりも13.3%も削減。環境政策規格（LAS-E）に取り組む土幌町では、今年度の目標を06年度よりもさらに2%削減するとして、国際的な問題になっている温室効果ガスを減らすための努力をしています。昨年12月には道内の自治体として初めて、環境政策規格の第1ステージをクリア。エコロジーな自治体のお手本として注目を集めています。これから道内でも、数多くの自治体が土幌町のように地球に優しい取り組みを推進していくことが期待されています。

## ほっと一息、静かな環境で、 極上の時間を堪能してみては

「子供から年輩の方まで、町民一人ひとりが環境問題を他人事ではなく、自分たちの目の前にあることなんだと受け止め、豊かな自然を将来へつなげていくよう、毎日の生活の中で工夫しています。私は長年ここで暮らしていますが、町を離れ土幌に戻ってくると、本当にほっとできるんですね。町全体に優しい空気が流れているというのか。四季を通じて各種イベントが開催され、秋に行われる『しほろ収穫祭』が毎年盛況です。ぜひ、お来ください」とピーアールする藤井主査。

後平支配人は「土幌の市街地から離れている『しほろ温泉』はたいへん静かですが、この静けさが何よりの贅沢だと思います。仕事などで最近、疲れていませんか？どうぞ、ゆっくり温泉につかり、何もしない時間を堪能してみてください」と、笑顔で話していました。



バイオガスプラント